

事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 8 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	(国保) 歯科診療所医療用材料技工事業			会計区分	3	国民健康保険特別会計(診療施設勘定)			所管部署	市民福祉部市民課		
事業番号	7455			予算科目	2 款 1 項 3 目			シート入力	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	
評価の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 詳細評価 <input type="checkbox"/> 簡易評価(事業の概要・結果のみ)			事業区分	政策的事業【任意】 <input type="checkbox"/> 重要事業			所属長名	高橋	野間	野間	
総合計画での位置づけ	基本目標	健康福祉都市の創造		担当責任者	清家	清家	清家	事務担当者	清家	清家	清家	
基本施策	生涯にわたる健康づくり				家藤	家藤	家藤					
根拠法令等	伊予市国民健康保険直営診療所条例											
関係する計画等												
事業の目的【ゴール】	対象	診療所受診者		事業開始年度	平成 17 年度			事業終了年度(予定)	令和 7 年度(予定)			
目指すべき姿を簡潔に	意図	適切な治療が受けられるよう治療用材料の充実を図ることを目的とする。			令和				設定なし			
事業内容【アクティビティ】	治療に必要な治療用材料の技工を専門業者に依頼し、医療用材料技工料を支払う。											
具体的な内容、どのような方法で実施しているのか												
事業の実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金等 <input type="checkbox"/> その他 ()											
連携事業及び関連事業の有無	<input type="checkbox"/> あり(以下に記載すること) <input checked="" type="checkbox"/> なし											
	事業番号	事務事業の名称			事務事業の概要							
	【連携事業】 一体的に実施している事業											
	【関連事業】 関係が深い事業											
本事業とSDGs(持続可能な開発目標)との関連性	<input type="checkbox"/> ゴール1 貧困をなくそう <input type="checkbox"/> ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに <input type="checkbox"/> ゴール13 気候変動に具体的な対策を <input type="checkbox"/> ゴール2 飢餓をゼロに <input type="checkbox"/> ゴール8 働きがいも経済成長も <input type="checkbox"/> ゴール14 海の豊かさを守ろう <input checked="" type="checkbox"/> ゴール3 すべての人に健康と福祉を <input type="checkbox"/> ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう <input type="checkbox"/> ゴール15 陸の豊かさを守ろう <input type="checkbox"/> ゴール4 質の高い教育をみんなに <input type="checkbox"/> ゴール10 人や国の不平等をなくそう <input type="checkbox"/> ゴール16 平和と公正をすべての人に <input type="checkbox"/> ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう <input type="checkbox"/> ゴール11 住み続けられるまちづくりを <input type="checkbox"/> ゴール17 パートナリーシップで目標を達成しよう <input type="checkbox"/> ゴール6 安全な水とトイレを世界中に <input type="checkbox"/> ゴール12 つくる責任つかう責任											

前回評価の振り返り

評価年度	令和 4 年度			
最終判断	現状維持			
事業遂行に係る課題・改善点	⇒	課題解決に向けた具体的な方策等	⇒	左記に対する対応状況

事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳(千円)

事業費の内訳

項目	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R - 要求	節	細節	事業費(千円)				摘要 ※代表的なものを簡潔に
							R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R - 要求	
当初予算	7,800	7,200	7,200		役務費	手数料	5,601	5,968	5,525		歯科技工手数料
補正予算	0	0	0								
前年度から繰越	0	0	0								
予備費等	0	0	0								
計	7,800	7,200	7,200	0							
執行額	5,601	5,968	5,525								
翌年度へ繰越	0	0	0								
国庫支出金	0	0	0								
県支出金	0	0	0								
地方債	0	0	0								
その他	0	0	0								
一般財源	5,601	5,968	5,525								
執行率(%)	71.8%	82.9%	76.7%								
正規職員の人工数	0.068	0.084	0.084								
1人当たりの人件費単価	7,765	7,895	7,973	※予算ベース							
※執行額+人件費	6,129	6,631	6,195								
予算執行状況の特記事項	執行率70%以下の場合には必須その理由等を簡潔に入力										
事業費の総計							5,601	5,968	5,525	0	

事業活動の実績【アウトプット】

活動指標	活動実績の達成度を測る指標	単位	目指す方向性	R 5	目標実績	R 6	目標実績	R 7	目標実績	達成度	令和 5 年度の振り返り	令和 6 年度の振り返り	令和 7 年度の振り返り
				実績	実績	実績							
指標①	医療用材料技工委託料	円	—	5,601		5,968		5,525		事業把握のための実績	治療に必要な治療用材料の技工を効果的に専門業者に依頼することができた。	派遣医師の診療を開始したことから、歯科技工手数料が増加したことを考える。	治療に必要な治療用材料の技工を効果的に専門業者に依頼することができた。
指標②													
指標③													
指標④													

※目標値：1年目の実績による変更【青字】入力、2年目の実績による変更【赤字】入力としています。

事業活動の成果【アウトカム】

成果指標	想定される事業活動の成果	活動成果の達成度を測る指標	単位	目指す方向性	R 5		R 6		R 7		達成度	左記の指標が設定できない場合は、事業実施によって評価期間内に発現した定性的な成果を記入
					目標実績	実績	目標実績	実績	目標実績	実績		
		指標①										
		指標②										
		指標③										

※目標値：1年目の実績による変更【青字】入力、2年目の実績による変更【赤字】入力としています。

事務事業の評価

所管における事務事業の評価	自己判定	担当者	目的の妥当性	4 上位施策の達成に不可欠な事務事業であり、事業の目的を見直す必要はない 3 上位施策の達成に必要な事務事業であり、事業の目的を見直す余地が少ない 2 上位施策の達成に必要な事務事業であるが、事業の目的は検討の必要がある 1 上位施策の達成に向け、事業の目的は見直しが必要である	1	評価点ランク		C	事業遂行に係る工夫点・事業成果	
						S	11 ~ 12			
所管における事務事業の評価	自己判定	妥当性	市民・社会ニーズへの対応	4 市民ニーズ・社会ニーズの有無に関わらず、実施する必要がある 3 全体的な市民ニーズ・社会ニーズが増加傾向にある 2 全体的な市民ニーズ・社会ニーズが現状維持傾向にある。又は、市民ニーズ・社会ニーズが限定的である 1 市民ニーズ・社会ニーズが減少傾向にある。又は、市民ニーズ・社会ニーズが曖昧である	2	A	9 ~ 10	C	国民健康保険直営施設として運営してきた中山歯科診療所について、民間活力導入による地域医療の維持・継続を図るため、令和8年4月1日から民間経営へ移行する方針とした。方針決定後、区長会・地域住民へ説明を行い、令和7年9月議会にて診療所条例廃止議案が可決された。	
			サービス主体の妥当性	4 本事業は市が直営で実施すべきものである 3 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきで、適切に導入している 2 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきで、導入の範囲に検討の余地がある 1 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきだが、導入できていない	3	C	5 ~ 6			
			成果指標の達成状況	4 目標を上回って達成できた（100%以上の達成） 3 概ね達成できた（80%以上の達成） 2 やや達成できなかった（50%以上の達成） 1 達成できなかった（50%未満の達成）	3	評価点ランク				S
		成果向上の可能性	4 既に相応の成果を得ているが、今後も成果向上の余地がある 3 成果向上が期待でき、事業継続の必要がある 2 成果は低調であるが、手法等の改善によって成果向上の余地がある 1 今後の成果向上は見込めない	2	A	9 ~ 10				
		市民等への影響	4 本事業がなくなると、不特定多数の市民・団体等に重大な影響がある 3 本事業がなくなると、特定の市民・団体等に重大な影響がある 2 本事業がなくなると、市民・団体等への影響は少ない 1 本事業がなくなると、市民・団体等への影響はほとんどない	1	C	5 ~ 6				
		市民等への影響	4 現状では最善の手段であり、他の手段を検討する必要はない 3 他の手段もあるが、現状の手段が望ましく、改善の必要性は低い 2 現状の手段が望ましいとは言えないため、他の手段も検討すべきである 1 現状の手段ではなく、他の手段に変更すべきである	1	評価点ランク		S			11 ~ 12
	効率性	コストの最適性	4 コストの削減・効率化の成果により、これ以上、改善の余地はない 3 コストの削減・効率化を適切に進めており、改善の必要性は低い 2 コストの削減・効率化に努めているが、成果が十分ではないため、積極的な改善が必要である 1 コストの削減・効率化の成果が全く得られておらず、抜本的な改善が必要である	2	A	9 ~ 10				
		コストの最適性	4 事業の性質上、受益者負担を求めるものではない 3 公平なサービスを提供し、適正な受益者負担を求めている 2 ある程度の公平なサービスを提供しているが、受益者負担には見直しの余地がある 1 対象者に偏りがあるなど公平なサービスとはいえない。又は、ある程度の公平なサービスを提供しているが受益者負担をしていない	3	C	5 ~ 6				
		受益の適正性	4 上記のとおり自己判定を確定し、本結果を踏まえて以下のとおり貢献度・重要度を判定します							
	一次判定	自己判定結果の確定							所属長の所見	
	所属長	一次判定	貢献度	S 市政全体の成果向上に与える影響が、非常に高い事務事業 A 上位施策の成果向上に与える影響が、高い事務事業 B 上位施策の成果向上に一定の影響をもつ事務事業 C 上位施策の成果向上に直接的な影響は弱い事務事業 D 当初位置付けた必要性が薄れており、事業推進が期待できない事務事業 ※既に休止・廃止が決定している事務事業も含む	判定区分	S	非常に高い	D	令和8年度より中山歯科診療所は直営から民間経営へ移行し、経営や業務の効率化、事業の質向上などを図りながら地域医療の維持・存続を図ることとなったため事業廃止とする。	
			重要度	S 市政全体からみても、重要度が非常に高いと判断される事務事業 ※自然災害等の緊急事態に対応する事務事業も含む A 上位施策の視点からみても、重要度が高いと判断される事務事業 B 上位施策への貢献度も踏まえ、目標の達成に向けて現状の計画に沿って推進していく事務事業 C 上位施策への貢献度も踏まえ、統合・縮小を検討すべき事務事業 D 上位施策への貢献度も踏まえ、休止・廃止を検討すべき事務事業 ※既に休止・廃止が決定している事務事業も含む		B	高い			
					C	普通	D			
					D	低い				
					D	非常に低い				

事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 8 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	(国保) 歯科診療所医薬品衛生材料購入事業		会計区分	3	国民健康保険特別会計(診療施設勘定)		所管部署	市民福祉部市民課			
事業番号	7460		予算科目	2 款 1 項 4 目			シート入力	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	
評価の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 詳細評価 <input type="checkbox"/> 簡易評価(事業の概要・結果のみ)		事業区分	政策的事業【任意】 <input type="checkbox"/> 重要事業			所属長名	高橋	野間	野間	
総合計画での位置づけ	基本目標	健康福祉都市の創造					担当責任者	清家	清家	清家	
	基本施策	生涯にわたる健康づくり					事務担当者	清家	清家	清家	
根拠法令等	伊予市国民健康保険直営診療所条例										
関係する計画等											
事業の目的【ゴール】 目指すべき姿を簡潔に	対象	診療所受診者									
	意図	適切な治療が受けられるよう治療体制の充実を図ることを目的とする。									
事業内容【アクティビティ】 具体的な内容、どのような方法で実施しているのか	診療に必要な医薬品や衛生材料を購入する。										
事業の実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
連携事業及び関連事業の有無	<input type="checkbox"/> あり(以下に記載すること) <input checked="" type="checkbox"/> なし										【連携事業】 一体的に実施している事業 【関連事業】 関係が深い事業
	事業番号	事務事業の名称	事務事業の概要								
本事業とSDGs(持続可能な開発目標)との関連性	<input type="checkbox"/> ゴール1 貧困をなくそう <input type="checkbox"/> ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに <input type="checkbox"/> ゴール13 気候変動に具体的な対策を <input type="checkbox"/> ゴール2 飢餓をゼロに <input type="checkbox"/> ゴール8 働きがいも経済成長も <input type="checkbox"/> ゴール14 海の豊かさを守ろう <input checked="" type="checkbox"/> ゴール3 すべての人に健康と福祉を <input type="checkbox"/> ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう <input type="checkbox"/> ゴール15 陸の豊かさを守ろう <input type="checkbox"/> ゴール4 質の高い教育をみんなに <input type="checkbox"/> ゴール10 人や国の不平等をなくそう <input type="checkbox"/> ゴール16 平和と公正をすべての人に <input type="checkbox"/> ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう <input type="checkbox"/> ゴール11 住み続けられるまちづくりを <input type="checkbox"/> ゴール17 パートナリーシップで目標を達成しよう <input type="checkbox"/> ゴール6 安全な水とトイレを世界中に <input type="checkbox"/> ゴール12 つくる責任つかう責任										

前回評価の振り返り

評価年度 令和 4 年度 最終判断 現状維持	事業遂行に係る課題・改善点	⇒	課題解決に向けた具体的な方策等	⇒	左記に対する対応状況
---------------------------------	---------------	---	-----------------	---	------------

事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳(千円)

事業費の内訳

項目	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R - 要求	節	細節	事業費(千円)				摘要 ※代表的なものを簡潔に	
							R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R - 要求		
当初予算	420	384	384									
補正予算	0	0	0									
前年度から繰越	0	0	0									
予備費等	0	0	0									
計	420	384	384	0								
執行額	202	177	291									
翌年度へ繰越	0	0	0									
国庫支出金	0	0	0									
県支出金	0	0	0									
地方債	0	0	0									
その他	0	0	0									
一般財源	202	177	291									
執行率(%)	48.1%	46.1%	75.8%									
正規職員の人工数	0.068	0.084	0.084									
1人当たりの人件費単価	7,765	7,895	7,973	※予算ベース								
※執行額+人件費	730	840	961									
予算執行状況の特記事項	R5、R6：診療・在庫状況によるもの											
執行率70%以下の場合には必須その理由等を簡潔に入力												
事業費の総計							202	177	291	0		

事業活動の実績【アウトプット】

活動指標	活動実績の達成度を測る指標	単位	目指す方向性	R 5	目標実績	R 6	目標実績	R 7	目標実績	達成度	令和 5 年度の振り返り	令和 6 年度の振り返り	令和 7 年度の振り返り	
				202	177	291								
指標①	医療用衛生材料購入費	円	—	202	177	291				事業把握のための実数	活動の評価・課題	物価が上昇する中、効率的に医療用衛生材料を購入することができた。	効率的に医療用衛生材料を購入することができた。	不足がないよう計画的に医療用衛生材料を購入することができた。
指標②											課題への改善提案			
指標③														
指標④														

※目標値：1年目の実績による変更【青字】入力、2年目の実績による変更【赤字】入力としています。

事業活動の成果【アウトカム】

成果指標	想定される事業活動の成果	活動成果の達成度を測る指標	単位	目指す方向性	R 5		R 6		R 7		達成度	左記の指標が設定できない場合は、事業実施によって評価期間内に発現した定性的な成果を記入
					目標実績	実績	目標実績	実績	目標実績	実績		
		指標①										
		指標②										
		指標③										

※目標値：1年目の実績による変更【青字】入力、2年目の実績による変更【赤字】入力としています。

事務事業の評価

所管における事務事業の評価	自己判定	担当者	目的の妥当性	4 上位施策の達成に不可欠な事務事業であり、事業の目的を見直す必要はない 3 上位施策の達成に必要な事務事業であり、事業の目的を見直す余地が少ない 2 上位施策の達成に必要な事務事業であるが、事業の目的は検討の必要がある 1 上位施策の達成に向け、事業の目的は見直しが必要である	1	評価点ランク		C	事業遂行に係る工夫点・事業成果	
						S	11 ~ 12			
所管における事務事業の評価	自己判定	妥当性	市民・社会ニーズへの対応	4 市民ニーズ・社会ニーズの有無に関わらず、実施する必要がある 3 全体的な市民ニーズ・社会ニーズが増加傾向にある 2 全体的な市民ニーズ・社会ニーズが現状維持傾向にある。又は、市民ニーズ・社会ニーズが限定的である 1 市民ニーズ・社会ニーズが減少傾向にある。又は、市民ニーズ・社会ニーズが曖昧である	2	A	9 ~ 10	C	国民健康保険直営施設として運営してきた中山歯科診療所について、民間活力導入による地域医療の維持・継続を図るため、令和8年4月1日から民間経営へ移行する方針とした。方針決定後、区長会・地域住民へ説明を行い、令和7年9月議会にて診療所条例廃止議案が可決された。	
			サービス主体の妥当性	4 本事業は市が直営で実施すべきものである 3 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきで、適切に導入している 2 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきで、導入の範囲に検討の余地がある 1 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきだが、導入できていない	3	C	5 ~ 6			
			成果指標の達成状況	4 目標を上回って達成できた（100%以上の達成） 3 概ね達成できた（80%以上の達成） 2 やや達成できなかった（50%以上の達成） 1 達成できなかった（50%未満の達成）	3	評価点ランク				S
		成果向上の可能性	4 既に相応の成果を得ているが、今後も成果向上の余地がある 3 成果向上が期待でき、事業継続の必要がある 2 成果は低調であるが、手法等の改善によって成果向上の余地がある 1 今後の成果向上は見込めない	2	A	9 ~ 10				
		市民等への影響	4 本事業がなくなると、不特定多数の市民・団体等に重大な影響がある 3 本事業がなくなると、特定の市民・団体等に重大な影響がある 2 本事業がなくなると、市民・団体等への影響は少ない 1 本事業がなくなると、市民・団体等への影響はほとんどない	1	C	5 ~ 6				
		市民等への影響	4 現状では最善の手段であり、他の手段を検討する必要はない 3 他の手段もあるが、現状の手段が望ましく、改善の必要性は低い 2 現状の手段が望ましいとは言えないため、他の手段も検討すべきである 1 現状の手段ではなく、他の手段に変更すべきである	1	評価点ランク		S			11 ~ 12
	効率性	コストの最適性	4 コストの削減・効率化の成果により、これ以上、改善の余地はない 3 コストの削減・効率化を適切に進めており、改善の必要性は低い 2 コストの削減・効率化に努めているが、成果が十分ではないため、積極的な改善が必要である 1 コストの削減・効率化の成果が全く得られておらず、抜本的な改善が必要である	2	A	9 ~ 10				
		コストの最適性	4 事業の性質上、受益者負担を求めるとはならない 3 公平なサービスを提供し、適正な受益者負担を求めている 2 ある程度の公平なサービスを提供しているが、受益者負担には見直しの余地がある 1 対象者に偏りがあるなど公平なサービスとはいえない。又は、ある程度の公平なサービスを提供しているが受益者負担をしていない	3	C	5 ~ 6				
		受益の適正性	4 事業の性質上、受益者負担を求めるとはならない 3 公平なサービスを提供し、適正な受益者負担を求めている 2 ある程度の公平なサービスを提供しているが、受益者負担には見直しの余地がある 1 対象者に偏りがあるなど公平なサービスとはいえない。又は、ある程度の公平なサービスを提供しているが受益者負担をしていない	3	D	3 ~ 4				
	一次判定	自己判定結果の確定	<input checked="" type="checkbox"/>	上記のとおり自己判定を確定し、本結果を踏まえて以下のとおり貢献度・重要度を判定します						所属長の所見
	所属長	一次判定	貢献度	S 市政全体の成果向上に与える影響が、非常に高い事務事業 A 上位施策の成果向上に与える影響が、高い事務事業 B 上位施策の成果向上に一定の影響をもつ事務事業 C 上位施策の成果向上に直接的な影響は弱い事務事業 D 当初位置付けた必要性が薄れており、事業推進が期待できない事務事業 ※既に休止・廃止が決定している事務事業も含む	判定区分	S	非常に高い	D	令和8年度より中山歯科診療所は直営から民間経営へ移行し、経営や業務の効率化、事業の質向上などを図りながら地域医療の維持・存続を図ることとなったため事業廃止とする。	
			重要度	S 市政全体からみても、重要度が非常に高いと判断される事務事業 ※自然災害等の緊急事態に対応する事務事業も含む A 上位施策の視点からみても、重要度が高いと判断される事務事業 B 上位施策への貢献度も踏まえ、目標の達成に向けて現状の計画に沿って推進していく事務事業 C 上位施策への貢献度も踏まえ、統合・縮小を検討すべき事務事業 D 上位施策への貢献度も踏まえ、休止・廃止を検討すべき事務事業 ※既に休止・廃止が決定している事務事業も含む		B	高い			
					C	普通	D			
					D	非常に低い				

事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 8 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	(国保) 歯科診療所臨床検査事業		会計区分	3	国民健康保険特別会計(診療施設勘定)		所管部署	市民福祉部市民課		
事業番号	7465		予算科目	2 款 1 項 5 目			シート入力	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度
評価の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 詳細評価 <input type="checkbox"/> 簡易評価(事業の概要・結果のみ)		事業区分	政策的事業【任意】		<input type="checkbox"/> 重要事業	所属長名	高橋	野間	野間
総合計画での位置づけ	基本目標	健康福祉都市の創造	基本施策	生涯にわたる健康づくり			担当責任者	清家	清家	清家
根拠法令等	伊予市国民健康保険直営診療所条例						事務担当者	清家	清家	清家
関係する計画等								家藤	家藤	家藤
事業の目的【ゴール】	対象	診療所受診者					事業開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 平成 17 年度 <input type="checkbox"/> 令和 ※合併前からの継続事業は平成17年度と入力		
目指すべき姿を簡潔に	意図	中山歯科診療所受診者の臨床検査の機会を確保することを目的とする。					事業終了年度(予定)	令和 7 年度(予定) <input type="checkbox"/> 設定なし		
事業内容【アクティビティ】	治療に必要な臨床検査を専門業者に委託する。									
具体的な内容、どのような方法で実施しているのか										
事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
連携事業及び関連事業の有無	<input type="checkbox"/> あり(以下に記載すること) <input type="checkbox"/> なし		事業番号	事務事業の名称	事務事業の概要					
本事業とSDGs(持続可能な開発目標)との関連性	<input type="checkbox"/> ゴール1 貧困をなくそう <input type="checkbox"/> ゴール2 飢餓をゼロに <input checked="" type="checkbox"/> ゴール3 すべての人に健康と福祉を <input type="checkbox"/> ゴール4 質の高い教育をみんなに <input type="checkbox"/> ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう <input type="checkbox"/> ゴール6 安全な水とトイレを世界中に		<input type="checkbox"/> ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに <input type="checkbox"/> ゴール8 働きがいも経済成長も <input type="checkbox"/> ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう <input type="checkbox"/> ゴール10 人や国の不平等をなくそう <input type="checkbox"/> ゴール11 住み続けられるまちづくりを <input type="checkbox"/> ゴール12 つくる責任つかう責任		<input type="checkbox"/> ゴール13 気候変動に具体的な対策を <input type="checkbox"/> ゴール14 海の豊かさを守ろう <input type="checkbox"/> ゴール15 陸の豊かさを守ろう <input type="checkbox"/> ゴール16 平和と公正をすべての人に <input type="checkbox"/> ゴール17 パートナリーシップで目標を達成しよう					

前回評価の振り返り

評価年度	令和 4 年度			
最終判断	現状維持			
事業遂行に係る課題・改善点	⇒	課題解決に向けた具体的な方策等	⇒	左記に対する対応状況

事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳(千円)

事業費の内訳

項目	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R - 要求	節	細節	事業費(千円)				摘要 ※代表的なものを簡潔に
							R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R - 要求	
当初予算	1	1	1	1	委託料						臨床検査委託料
補正予算	0	0	0	0							
前年度から繰越	0	0	0	0							
予備費等	0	0	0	0							
計	1	1	1	1							
執行額	0	0	0	0	例年支出のあるもの						
翌年度へ繰越	0	0	0	0							
国庫支出金	0	0	0	0							
県支出金	0	0	0	0							
地方債	0	0	0	0							
その他	0	0	0	0							
一般財源	0	0	0	0							
執行率(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%							
正規職員の人工数	0.068	0.084	0.084	0.084							
1人当たりの人件費単価	7,765	7,895	7,973	※予算ベース							
※執行額+人件費	528	663	670								
予算執行状況の特記事項	該当する診療がなかった。										
執行率70%以下の場合には必須その理由等を簡潔に入力											
事業費の総計							0	0	0	0	

事業活動の実績【アウトプット】

活動指標	活動実績の達成度を測る指標	単位	目指す方向性	R 5	目標実績	R 6	目標実績	R 7	目標実績	達成度	令和 5 年度の振り返り	令和 6 年度の振り返り	令和 7 年度の振り返り
				実績	実績	実績							
指標①	臨床検査委託料	円	—	0		0		0		事業把握のための実数	該当する診療がなかったため、実績がない。	該当する診療がなかったため、実績がない。	該当する診療がなかったため、実績がない。
指標②													
指標③													
指標④													

※目標値：1年目の実績による変更【青字】入力、2年目の実績による変更【赤字】入力としています。

事業活動の成果【アウトカム】

成果指標	想定される事業活動の成果	活動成果の達成度を測る指標	単位	目指す方向性	R 5		R 6		R 7		達成度	左記の指標が設定できない場合は、事業実施によって評価期間内に発現した定性的な成果を記入
					目標実績	実績	目標実績	実績	目標実績	実績		
		指標①										
		指標②										
		指標③										

※目標値：1年目の実績による変更【青字】入力、2年目の実績による変更【赤字】入力としています。

事務事業の評価

所管における事務事業の評価	自己判定	担当者	目的の妥当性	4 上位施策の達成に不可欠な事務事業であり、事業の目的を見直す必要はない 3 上位施策の達成に必要な事務事業であり、事業の目的を見直す余地が少ない 2 上位施策の達成に必要な事務事業であるが、事業の目的は検討の必要がある 1 上位施策の達成に向け、事業の目的は見直しが必要である	1	評価点ランク		C	事業遂行に係る工夫点・事業成果						
						S	11 ~ 12								
	妥当性	市民・社会ニーズへの対応	4 市民ニーズ・社会ニーズの有無に関わらず、実施する必要がある 3 全体的な市民ニーズ・社会ニーズが増加傾向にある 2 全体的な市民ニーズ・社会ニーズが現状維持傾向にある。又は、市民ニーズ・社会ニーズが限定的である 1 市民ニーズ・社会ニーズが減少傾向にある。又は、市民ニーズ・社会ニーズが曖昧である	2	A	9 ~ 10	C	国民健康保険直営施設として運営してきた中山歯科診療所について、民間活力導入による地域医療の維持・継続を図るため、令和8年4月1日から民間経営へ移行する方針とした。方針決定後、区長会・地域住民へ説明を行い、令和7年9月議会にて診療所条例廃止議案が可決された。							
									サービス主体の妥当性	4 本事業は市が直営で実施すべきものである 3 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきで、適切に導入している 2 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきで、導入の範囲に検討の余地がある 1 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきだが、導入できていない	3	C	5 ~ 6	D	3 ~ 4
	有効性	成果指標の達成状況	4 目標を上回って達成できた（100%以上の達成） 3 概ね達成できた（80%以上の達成） 2 やや達成できなかった（50%以上の達成） 1 達成できなかった（50%未満の達成）	3	評価点ランク		C	事業遂行に係る課題・改善点							
					S	11 ~ 12									
					A	9 ~ 10									
	市民等への影響	4 既に相応の成果を得ているが、今後も成果向上の余地がある 3 成果向上が期待でき、事業継続の必要がある 2 成果は低調であるが、手法等の改善によって成果向上の余地がある 1 今後の成果向上は見込めない	2	A	9 ~ 10	C	令和8年3月31日をもって直営による運営を廃止し、民間経営への移行を行った。								
								B	7 ~ 8						
								C	5 ~ 6						
	効率性	手段の最適性	4 本事業がなくなると、不特定多数の市民・団体等に重大な影響がある 3 本事業がなくなると、特定の市民・団体等に重大な影響がある 2 本事業をなくしても、市民・団体等への影響は少ない 1 本事業をなくしても、市民・団体等への影響はほとんどない	1	C	5 ~ 6	D	3 ~ 4							
									コストの最適性	4 現状では最善の手段であり、他の手段を検討する必要はない 3 他の手段もあるが、現状の手段が望ましく、改善の必要性は低い 2 現状の手段が望ましいとは言えないため、他の手段も検討すべきである 1 現状の手段ではなく、他の手段に変更すべきである	2	A	9 ~ 10	B	7 ~ 8
受益の適正性	4 事業の性質上、受益者負担を求めるものではない 3 公平なサービスを提供し、適正な受益者負担を求めている 2 ある程度の公平なサービスを提供しているが、受益者負担には見直しの余地がある 1 対象者に偏りがあるなど公平なサービスとはいえない。又は、ある程度の公平なサービスを提供しているが受益者負担をしていない	3	C	5 ~ 6	D	3 ~ 4									
							S	11 ~ 12							
一次判定	自己判定結果の確定	☑	上記のとおり自己判定を確定し、本結果を踏まえて以下のとおり貢献度・重要度を判定します				D	所属長の所見							
			S	非常に高い											
所属長	貢献度	S 市政全体の成果向上に与える影響が、非常に高い事務事業 A 上位施策の成果向上に与える影響が、高い事務事業 B 上位施策の成果向上に一定の影響をもつ事務事業 C 上位施策の成果向上に直接的な影響は弱い事務事業 D 当初位置付けた必要性が薄れており、事業推進が期待できない事務事業 ※既に休止・廃止が決定している事務事業も含む	判定区分	S	非常に高い	D	令和8年度より中山歯科診療所は直営から民間経営へ移行し、経営や業務の効率化、事業の質向上などを図りながら地域医療の維持・存続を図ることとなったため事業廃止とする。								
								A	高い						
								B	普通						
								C	低い						
重要度	S 市政全体からみても、重要度が非常に高いと判断される事務事業 ※自然災害等の緊急事態に対応する事務事業も含む A 上位施策の視点からみても、重要度が高いと判断される事務事業 B 上位施策への貢献度も踏まえ、目標の達成に向けて現状の計画に沿って推進していく事務事業 C 上位施策への貢献度も踏まえ、統合・縮小を検討すべき事務事業 D 上位施策への貢献度も踏まえ、休止・廃止を検討すべき事務事業 ※既に休止・廃止が決定している事務事業も含む	D	非常に低い												
				D	非常に低い										

事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 8 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	三世代交流拠点施設運営事業			会計区分	1	一般会計		所管部署	長寿介護課								
事業番号	1364			予算科目	3 款 1 項 10 目		民生費	シート入力	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度						
評価の種類	□ 詳細評価 □ 簡易評価（事業の概要・結果のみ）			事業区分	政策的事業【任意】		□ 重要事業	所属長名	野間	福積	福積						
総合計画での位置づけ	基本目標	健康福祉都市の創造		担当責任者	池田	堀内	福島	事務担当者	影浦	影浦	堀内						
根拠法令等	伊予市介護予防三世代交流拠点施設条例			事業開始年度	□ 平成 17 年度 □ 令和		※合併前からの継続事業は平成17年度と入力		事業終了年度(予定)	令和	年度(予定)						
関係する計画等	対象	市内在住の青少年、壮年及び高齢者		事業の実施方法	□ 直営 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 補助金・負担金等 □ その他 ()			事業開始年度	□ 設定なし								
事業の目的【ゴール】	意図	幅広い年齢層の地域コミュニティの場を提供し、利用促進を図る。		事業内容【アクティビティ】	指定管理の協定により、みたに・上吾川・唐川・双海・下灘の5館の管理運営を地元で組織する運営協議会に委託し、施設の運営・維持管理や目的達成のための事業を行う。			事業終了年度(予定)	令和 年度(予定)								
目指すべき姿を簡潔に			事業内容【アクティビティ】		具体的な内容、どのような方法で実施しているのか												
事業の実施方法	□ あり（以下に記載すること） □ なし			事務事業の概要			【連携事業】 一体的に実施している事業			【関連事業】 関係が深い事業							
連携事業及び関連事業の有無	事業番号	事務事業の名称															
本事業とSDGs(持続可能な開発目標)との関連性	□ ゴール1 貧困をなくそう	□ ゴール2 飢餓をゼロに	□ ゴール3 すべての人に健康と福祉を	□ ゴール4 質の高い教育をみんなに	□ ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	□ ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	□ ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	□ ゴール8 働きがいも経済成長も	□ ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう	□ ゴール10 人や国の不平等をなくそう	□ ゴール11 住み続けられるまちづくりを	□ ゴール12 つくる責任つかう責任	□ ゴール13 気候変動に具体的な対策を	□ ゴール14 海の豊かさを守ろう	□ ゴール15 陸の豊かさを守ろう	□ ゴール16 平和と公正をすべての人に	□ ゴール17 パートナリーシップで目標を達成しよう

前回評価の振り返り

評価年度 令和 4 年度	事業遂行に係る課題・改善点	課題解決に向けた具体的な方策等	左記に対する対応状況
最終判断 現状維持	高齢者福祉施設再編方針により再編された各施設は、健康増進・介護予防の目的に沿った事業を継続していく。	地域の活性化や地域コミュニティに繋がるよう各運営協議会と連携を図る。	三世代交流拠点施設が、地元運営協議会による管理運営のメリットを生かして、特色ある活用が図られるよう支援していく。

事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳（千円）

事業費の内訳

項目	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 要求	節	細節	事業費（千円）				摘要 ※代表的なものを簡潔に	
	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 要求			R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 要求		
当初予算	3,597	4,194	6,806	6,438	委託料		3,377	3,377	4,995	6,062	各ふれあい館指定管理料	
補正予算												
前年度から繰越												
予備費等												
計	3,597	4,194	6,806	6,438								
執行額	3,547	3,894	6,282		需用費	修繕料	59	244			施設修繕費	
翌年度へ繰越					工事請負費				693		空調設備更新工事	
国庫支出金					備品購入費	庁用器具費			490			
県支出金							111	273	104	376	一般事務費、上記で表せないもの	
地方債												
その他												
一般財源	3,547	3,894	6,282	6,438								
執行率(%)	98.6%	92.8%	92.3%		事業費の総計				3,547	3,894	6,282	6,438
正規職員の人工数	0.10	0.10	0.10									
1人当たりの人件費単価	7,765	7,895			※予算ベース							
※執行額+人件費	4,324	4,684	6,282									
予算執行状況の特記事項	執行率70%以下の場合には必須その理由等を簡潔に入力											

事業活動の実績【アウトプット】

活動指標	活動実績の達成度を測る指標		単位	目指す方向性	R 5	目標実績	R 6	目標実績	R 7	目標実績	達成度	令和 5 年度の振り返り	令和 6 年度の振り返り	令和 7 年度の振り返り
	指標①	指標②			R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績							
活動指標	各ふれあい館開館日数	日	→	740	740	820	かなり達成(80%以上)	活動の評価・課題 市内の青少年、壮年、高齢者の三世代の交流を図り、健康増進及び介護予防の観点から事業効果を検証していく。	市内の青少年、壮年、高齢者の三世代の交流を図り、健康増進及び介護予防の観点から事業効果を検証していく。	双海生きがい活動センターが双海ふれあい館になり、1か所増えて、4か所となった。より、地域に密着した活動が行われるように支援していく。				
				741	732	836								
	各ふれあい館利用延べ人数	人	↗	8,500	8,500	9,500	かなり達成(80%以上)							
				9,740	9,104	9,848								
指標③								延べ利用者が増加した。	開館日数が少なかったこともあり、延べ利用者数も減少した。	ふれあい館が1か所増えたこともあり、開館日数が増加したため、開館日数及び延べ人数も増加した。				
指標④														

※目標値：1年目の実績による変更【青字】入力、2年目の実績による変更【赤字】入力としています。

事業活動の成果【アウトカム】

成果指標	想定される事業活動の成果		活動成果の達成度を測る指標		単位	目指す方向性	R 5		R 6		R 7		達成度	左記の指標が設定できない場合は、事業実施によって評価期間内に発現した定性的な成果を記入
		中期成果	指標①				目標実績	実績	目標実績	実績	目標実績	実績		
成果指標	各ふれあい館が地域コミュニティとして、活用されている。		1日の平均利用人数	人	↑	10	10	10	かなり達成 (80%以上)					
						13.1	12.4	11.8						

※目標値：1年目の実績による変更【青字】入力、2年目の実績による変更【赤字】入力としています。

事務事業の評価

所管における事務事業の評価	自己判定	担当者	目的の妥当性	4 上位施策の達成に不可欠な事務事業であり、事業の目的を見直す必要はない 3 上位施策の達成に必要な事務事業であり、事業の目的を見直す余地が少ない 2 上位施策の達成に必要な事務事業であるが、事業の目的は検討の必要がある 1 上位施策の達成に向け、事業の目的は見直しが必要である	3	評価点ランク		A	事業遂行に係る工夫点・事業成果	
						S	11 ~ 12			
所管における事務事業の評価	自己判定	妥当性	市民・社会ニーズへの対応	4 市民ニーズ・社会ニーズの有無に関わらず、実施する必要がある 3 全体的な市民ニーズ・社会ニーズが増加傾向にある 2 全体的な市民ニーズ・社会ニーズが現状維持傾向にある。又は、市民ニーズ・社会ニーズが限定的である 1 市民ニーズ・社会ニーズが減少傾向にある。又は、市民ニーズ・社会ニーズが曖昧である	3	A	9 ~ 10	A	三世代で交流が図れる施設として、各地区のふれあい館が、地域の特性やニーズを踏まえて、利用促進を図っていく。	
			サービス主体の妥当性	4 本事業は市が直営で実施すべきものである 3 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきで、適切に導入している 2 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきで、導入の範囲に検討の余地がある 1 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきだが、導入できていない	3	B	7 ~ 8			
			成果指標の達成状況	4 目標を上回って達成できた（100%以上の達成） 3 概ね達成できた（80%以上の達成） 2 やや達成できなかった（50%以上の達成） 1 達成できなかった（50%未満の達成）	3	C	5 ~ 6			
		成果向上の可能性	4 既に相応の成果を得ているが、今後も成果向上の余地がある 3 成果向上が期待でき、事業継続の必要がある 2 成果は低調であるが、手法等の改善によって成果向上の余地がある 1 今後の成果向上は見込めない	3	D	3 ~ 4				
		市民等への影響	4 本事業がなくなると、不特定多数の市民・団体等に重大な影響がある 3 本事業がなくなると、特定の市民・団体等に重大な影響がある 2 本事業をなくしても、市民・団体等への影響は少ない 1 本事業をなくしても、市民・団体等への影響はほとんどない	3	S	11 ~ 12				
		手段の最適性	4 現状では最善の手段であり、他の手段を検討する必要はない 3 他の手段もあるが、現状の手段が望ましく、改善の必要性は低い 2 現状の手段が望ましいとは言えないため、他の手段も検討すべきである 1 現状の手段ではなく、他の手段に変更すべきである	3	A	9 ~ 10				
	効率性	コストの最適性	4 コストの削減・効率化の成果により、これ以上、改善の余地はない 3 コストの削減・効率化を適切に進めており、改善の必要性は低い 2 コストの削減・効率化に努めているが、成果が十分ではないため、積極的な改善が必要である 1 コストの削減・効率化の成果が全く得られておらず、抜本的な改善が必要である	3	B	7 ~ 8				
		受益の適正性	4 事業の性質上、受益者負担を求めるものではない 3 公平なサービスを提供し、適正な受益者負担を求めている 2 ある程度の公平なサービスを提供しているが、受益者負担には見直しの余地がある 1 対象者に偏りがあるなど公平なサービスとはいえない。又は、ある程度の公平なサービスを提供しているが受益者負担をしていない	3	C	5 ~ 6				
					D	3 ~ 4				
	一次判定	自己判定結果の確定	☑	上記のとおり自己判定を確定し、本結果を踏まえて以下のとおり貢献度・重要度を判定します						所属長の所見
		貢献度	S 市政全体の成果向上に与える影響が、非常に高い事務事業 A 上位施策の成果向上に与える影響が、高い事務事業 B 上位施策の成果向上に一定の影響をもつ事務事業 C 上位施策の成果向上に直接的な影響は弱い事務事業 D 当初位置付けた必要性が薄れており、事業推進が期待できない事務事業 ※既に休止・廃止が決定している事務事業も含む	判定区分	S	非常に高い	A	地元運営協議会が地域の特性に配慮した特色ある運営を行っている。三世代にわたり交流できる施設として、健康増進、介護予防の促進を図っていく。		
		重要度	S 市政全体からみても、重要度が非常に高いと判断される事務事業 ※自然災害等の緊急事態に対応する事務事業も含む A 上位施策の視点からみても、重要度が高いと判断される事務事業 B 上位施策への貢献度も踏まえ、目標の達成に向けて現状の計画に沿って推進していく事務事業 C 上位施策への貢献度も踏まえ、統合・縮小を検討すべき事務事業 D 上位施策への貢献度も踏まえ、休止・廃止を検討すべき事務事業 ※既に休止・廃止が決定している事務事業も含む		A	高い				
B	普通									
所属長				C	低い	A				
				D	非常に低い					

事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 8 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	生きがい活動センター運営事業			会計区分	1	一般会計		所管部署	市民福祉部長寿介護課																				
事業番号				予算科目	3	款	1	項	10	目	民生費																		
評価の種別	□ 詳細評価 □ 簡易評価（事業の概要・結果のみ）			事業区分	政策的事業【任意】		□ 重要事業		シート入力	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度																	
総合計画での位置づけ	基本目標	健康福祉都市の創造		所属長名																									
	基本施策	健やかに生きがいの持てる高齢者福祉の実践		野間 福積 福積																									
根拠法令等	伊予市いきがい活動センター条例																												
関係する計画等	担当責任者																												
	池田 堀内 福島																												
事業の目的【ゴール】	対象	市内に住所を有する65歳以上の者及びその他指定管理者が特に利用を許可した者																											
目指すべき姿を簡潔に	意図	介護予防事業・保健事業等を一体的に提供し、併せて高齢者の交流・憩いの場を提供することを目的とする。																											
事業内容【アクティビティ】	介護予防の普及啓発、介護予防の情報提供・交流の場に関する事業、地域活動の支援に関する事業及び趣味・生きがい活動に関する事業																												
具体的な内容、どのような方法で実施しているのか	事業開始年度																												
	□ 平成 2 年度 □ 令和 ※合併前からの継続事業は平成17年度と入力																												
事業の実施方法	事業終了年度（予定）																												
	□ 直営 □ 一部委託 □ 全部委託 □ 指定管理 □ 補助金・負担金等 □ その他（ ） □ 設定なし																												
連携事業及び関連事業の有無	□ あり（以下に記載すること） □ なし																												
	事業番号	事務事業の名称		事務事業の概要							【連携事業】 一体的に実施している事業 【関連事業】 関係が深い事業																		
	8170	一般介護予防事業		高齢者の介護予防事業を主に実施していくことから、事業に関連性がある。																									
本事業とSDGs（持続可能な開発目標）との関連性	<table border="0"> <tr> <td>□ ゴール1 貧困をなくそう</td> <td>□ ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</td> <td>□ ゴール13 気候変動に具体的な対策を</td> </tr> <tr> <td>□ ゴール2 飢餓をゼロに</td> <td>□ ゴール8 働きがいも経済成長も</td> <td>□ ゴール14 海の豊かさを守ろう</td> </tr> <tr> <td>□ ゴール3 すべての人に健康と福祉を</td> <td>□ ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう</td> <td>□ ゴール15 陸の豊かさを守ろう</td> </tr> <tr> <td>□ ゴール4 質の高い教育をみんなに</td> <td>□ ゴール10 人や国の不平等をなくそう</td> <td>□ ゴール16 平和と公正をすべての人に</td> </tr> <tr> <td>□ ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう</td> <td>□ ゴール11 住み続けられるまちづくりを</td> <td>□ ゴール17 パートナリーシップで目標を達成しよう</td> </tr> <tr> <td>□ ゴール6 安全な水とトイレを世界中に</td> <td>□ ゴール12 つくる責任つかう責任</td> <td></td> </tr> </table>											□ ゴール1 貧困をなくそう	□ ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	□ ゴール13 気候変動に具体的な対策を	□ ゴール2 飢餓をゼロに	□ ゴール8 働きがいも経済成長も	□ ゴール14 海の豊かさを守ろう	□ ゴール3 すべての人に健康と福祉を	□ ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう	□ ゴール15 陸の豊かさを守ろう	□ ゴール4 質の高い教育をみんなに	□ ゴール10 人や国の不平等をなくそう	□ ゴール16 平和と公正をすべての人に	□ ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	□ ゴール11 住み続けられるまちづくりを	□ ゴール17 パートナリーシップで目標を達成しよう	□ ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	□ ゴール12 つくる責任つかう責任	
□ ゴール1 貧困をなくそう	□ ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	□ ゴール13 気候変動に具体的な対策を																											
□ ゴール2 飢餓をゼロに	□ ゴール8 働きがいも経済成長も	□ ゴール14 海の豊かさを守ろう																											
□ ゴール3 すべての人に健康と福祉を	□ ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう	□ ゴール15 陸の豊かさを守ろう																											
□ ゴール4 質の高い教育をみんなに	□ ゴール10 人や国の不平等をなくそう	□ ゴール16 平和と公正をすべての人に																											
□ ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう	□ ゴール11 住み続けられるまちづくりを	□ ゴール17 パートナリーシップで目標を達成しよう																											
□ ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	□ ゴール12 つくる責任つかう責任																												

前回評価の振り返り

評価年度 令和 4 年度 最終判断 現状維持	事業遂行に係る課題・改善点 高齢者施設再編計画に沿って整備した施設が高齢者の生きがい活動の活性化が図れる施設、地域で活用される施設としての位置づけが確立される。	課題解決に向けた具体的な方策等 受託事業者と連携し、介護予防事業、地域活性化が図れるよう検討する。	左記に対する対応状況 高齢者の生きがい活動の活性化と介護予防に繋がるよう、継続して活用を図っていく。
---------------------------------	---	--	---

事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳（千円）

事業費の内訳

項目	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 要求	節	細節	事業費（千円）				摘要 ※代表的なものを簡潔に		
							R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 要求			
当初予算	5,328	6,313	3,906	3,932									
補正予算					委託料		5,000	5,033	3,770	3,770	指定管理料		
前年度から繰越													
予備費等													
計	5,328	6,313	3,906	3,932									
執行額	5,317	6,223	3,785										
翌年度へ繰越													
国庫支出金													
県支出金													
地方債													
その他													
一般財源	5,317	6,223	3,785	3,932									
執行率（%）	99.8%	98.6%	96.9%										
正規職員の人工数	0.30	0.30	0.30										
1人当たりの人件費単価	7,765	7,895	7,973	※予算ベース									
※執行額+人件費	7,647	8,592	6,177										
予算執行状況の特記事項 執行率70%以下の場合には必須その理由等を簡潔に入力													
					事業費の総計				5,317	6,223	3,785	3,932	

事業活動の実績【アウトプット】

活動指標	活動実績の達成度を測る指標		単位	目指す方向性	R 5	目標実績	R 6	目標実績	R 7	目標実績	達成度	令和 5 年度の振り返り	令和 6 年度の振り返り	令和 7 年度の振り返り
	指標①	指標②												
活動指標	指標①	じゅらく生きがい活動センター利用延べ人数	人	↑	18,000	18,000	18,000	18,000	21,058	21,058	かなり達成（80%以上）	各施設とも利用者は、増加傾向である。	他施設において、レジオネラ菌の発生があり、安全な施設運営を元に双海生きがい活動センターの入浴を中止とした。今後の利用状況、利用者数等の経過の確認が必要。	双海生きがい活動センターの指定管理の応募事業者がなく、地域の意向を踏まえ、令和7年度から双海ふれあい館に変更となったため、生きがい活動センターは、2か所となった。
					17,272	17,771	17,771	21,058	21,058					
	指標②	中山生きがい活動センター利用延べ人数	人	↑	2,500	2,500	2,500	2,500	2,558	2,558	やや達成（50%以上）			
					2,052	3,473	3,473	2,558	2,558					
指標③	双海生きがい活動センター利用延べ人数	人			2,500	2,500	2,500	2,500	-	-	やや達成（50%以上）	双海生きがい活動センターにおける施設老朽化、特に入浴設備は、今後故障した場合、修繕が難しい状況。費用対効果等の検証していく。	入浴の中止等による利用者状況及び利用者数の変化は、みられなかった。地域の特性に応じた利用に繋がるよう、受託事業者と連携を図る。	双海地域は、ふれあい館に変更となった。引き続き、地域の交流・憩いの場となるよう努めていく。
					3,527	2,153	2,153	-	-					
指標④														

※目標値：1年目の実績による変更【青字】入力、2年目の実績による変更【赤字】入力としています。

事業活動の成果【アウトカム】

成果指標	想定される事業活動の成果		活動成果の達成度を測る指標		単位	目指す方向性	R 5		R 6		R 7		達成度	左記の指標が設定できない場合は、事業実施によって評価期間内に発現した定性的な成果を記入
		中期成果	指標①				目標実績	実績	目標実績	実績	目標実績	実績		
成果指標	じゅらく生きがい活動センターの利用人数の増加	中期成果	指標①	じゅらく生きがい活動センターの1日平均利用人数	人	↑	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0	目標達成(100%以上)	
							71.7	73.4	87.0	87.0	87.0	87.0		
成果指標	中山生きがい活動センターの利用人数の増加	中期成果	指標②	中山生きがい活動センターの1日平均利用人数	人	↑	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	やや達成(50%以上)	
							8.3	8.9	10.4	10.4	10.4	10.4		
			指標③											

※目標値：1年目の実績による変更【青字】入力、2年目の実績による変更【赤字】入力としています。

事務事業の評価

所管における事務事業の評価	自己判定	担当者	目的の妥当性	4 上位施策の達成に不可欠な事務事業であり、事業の目的を見直す必要はない 3 上位施策の達成に必要な事務事業であり、事業の目的を見直す余地が少ない 2 上位施策の達成に必要な事務事業であるが、事業の目的は検討の必要がある 1 上位施策の達成に向け、事業の目的は見直しが必要である	2	評価点ランク		B	事業遂行に係る工夫点・事業成果	
						S	11 ~ 12			
所管における事務事業の評価	自己判定	妥当性	市民・社会ニーズへの対応	4 市民ニーズ・社会ニーズの有無に関わらず、実施する必要がある 3 全体的な市民ニーズ・社会ニーズが増加傾向にある 2 全体的な市民ニーズ・社会ニーズが現状維持傾向にある。又は、市民ニーズ・社会ニーズが限定的である 1 市民ニーズ・社会ニーズが減少傾向にある。又は、市民ニーズ・社会ニーズが曖昧である	3	A	9 ~ 10	B	各受託事業者のプログラム等の工夫等により、じゅらく生きがい活動センターの利用者数は年々増加し、他施設の利用者数は、微増傾向である。引き続き介護予防に繋がるよう受託事業者と連携を図る。	
			サービス主体の妥当性	4 本事業は市が直営で実施すべきものである 3 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきで、適切に導入している 2 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきで、導入の範囲に検討の余地がある 1 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきだが、導入できていない	3	B	7 ~ 8			
			成果指標の達成状況	4 目標を上回って達成できた（100%以上の達成） 3 概ね達成できた（80%以上の達成） 2 やや達成できなかった（50%以上の達成） 1 達成できなかった（50%未満の達成）	3	C	5 ~ 6			
		成果向上の可能性	4 既に相応の成果を得ているが、今後も成果向上の余地がある 3 成果向上が期待でき、事業継続の必要がある 2 成果は低調であるが、手法等の改善によって成果向上の余地がある 1 今後の成果向上は見込めない	3	D	3 ~ 4				
		市民等への影響	4 本事業がなくなると、不特定多数の市民・団体に重大な影響がある 3 本事業がなくなると、特定の市民・団体に重大な影響がある 2 本事業がなくなると、市民・団体等への影響は少ない 1 本事業がなくなると、市民・団体等への影響はほとんどない	3	A	9 ~ 10				
		手段の最適性	4 現状では最善の手段であり、他の手段を検討する必要はない 3 他の手段もあるが、現状の手段が望ましく、改善の必要性は低い 2 現状の手段が望ましいとは言えないため、他の手段も検討すべきである 1 現状の手段ではなく、他の手段に変更すべきである	2	B	7 ~ 8				
	効率性	コストの最適性	4 コストの削減・効率化の成果により、これ以上、改善の余地はない 3 コストの削減・効率化を適切に進めており、改善の必要性は低い 2 コストの削減・効率化に努めているが、成果が十分ではないため、積極的な改善が必要である 1 コストの削減・効率化の成果が全く得られておらず、抜本的な改善が必要である	3	S	11 ~ 12				
		受益の適正性	4 事業の性質上、受益者負担を求めるものではない 3 公平なサービスを提供し、適正な受益者負担を求めている 2 ある程度の公平なサービスを提供しているが、受益者負担には見直しの余地がある 1 対象者に偏りがあるなど公平なサービスとはいえない。又は、ある程度の公平なサービスを提供しているが受益者負担をしていない	3	A	9 ~ 10				
	一次判定	自己判定結果の確定	☑	上記のとおり自己判定を確定し、本結果を踏まえて以下のとおり貢献度・重要度を判定します						所属長の所見
		貢献度	S 市政全体の成果向上に与える影響が、非常に高い事務事業 A 上位施策の成果向上に与える影響が、高い事務事業 B 上位施策の成果向上に一定の影響をもつ事務事業 C 上位施策の成果向上に直接的な影響は弱い事務事業 D 当初位置付けた必要性が薄れており、事業推進が期待できない事務事業 ※既に休止・廃止が決定している事務事業も含む	判定区分	S	非常に高い	A	高齢者福祉計画再編計画に沿って、市内3圏域に各施設を整備したが、2圏域となった。高齢者の生きがい活動の活性化と、介護予防に繋がるよう有効活用を図っていく必要がある。		
		重要度	S 市政全体からみても、重要度が非常に高いと判断される事務事業 ※自然災害等の緊急事態に対応する事務事業も含む A 上位施策の視点からみても、重要度が高いと判断される事務事業 B 上位施策への貢献度も踏まえ、目標の達成に向けて現状の計画に沿って推進していく事務事業 C 上位施策への貢献度も踏まえ、統合・縮小を検討すべき事務事業 D 上位施策への貢献度も踏まえ、休止・廃止を検討すべき事務事業 ※既に休止・廃止が決定している事務事業も含む		A	高い				
		B	普通							
所属長				C	低い	A				
				D	非常に低い					

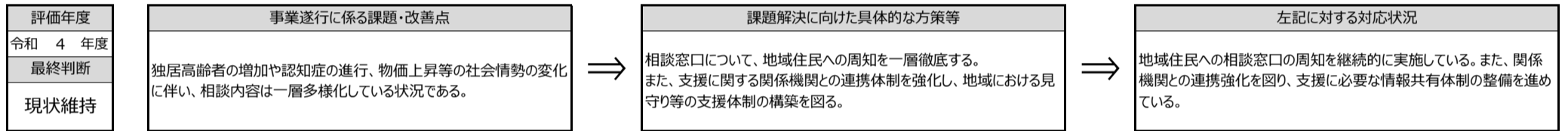
事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 8 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	(介保) 総合相談事業			会計区分	5	介護保険特別会計			所管部署	長寿介護課																
事業番号	8115			予算科目	3 款 3 項 1 目			シート入力	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度															
評価の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 詳細評価 <input type="checkbox"/> 簡易評価 (事業の概要・結果のみ)			事業区分	政策的事業【任意】 <input type="checkbox"/> 重要事業			所属長名	野間	福積	福積															
総合計画での位置づけ	基本目標	健康福祉都市の創造		担当責任者	福積	福島	福島	事務担当者																		
根拠法令等	介護保険法			事業開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 平成 18 年度 <input type="checkbox"/> 令和 ※合併前からの継続事業は平成17年度と入力			事業終了年度 (予定)	令和	年度(予定)																
関係する計画等	伊予市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画			事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金等 <input type="checkbox"/> その他 ()			事業実施方法	<input type="checkbox"/> あり (以下に記載すること) <input checked="" type="checkbox"/> なし																	
事業の目的【ゴール】	対象	65歳以上の高齢者		事業内容【アクティビティ】	中山、双海地域にランチとして総合相談窓口を委託により設置。相談内容に応じ、アセスメントシートを作成し、担当課へ提出。必要に応じ行政、地域包括支援センターとの連携を図っている。			【連携事業】 一体的に実施している事業 【関連事業】 関係が深い事業																		
目指すべき姿を簡潔に	意図	高齢者が住み慣れた地域で安心した暮らしを続けることができるよう、高齢者又はその家族等に対し、介護、福祉、保健など総合的な相談に応じ、必要な支援につなげる。																								
事業内容【アクティビティ】	具体的な内容、どのような方法で実施しているのか			中山、双海地域にランチとして総合相談窓口を委託により設置。相談内容に応じ、アセスメントシートを作成し、担当課へ提出。必要に応じ行政、地域包括支援センターとの連携を図っている。																						
事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金等 <input type="checkbox"/> その他 ()			連携事業及び関連事業の有無 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>事業番号</th> <th>事務事業の名称</th> <th>事務事業の概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>								事業番号	事務事業の名称	事務事業の概要												
事業番号	事務事業の名称	事務事業の概要																								
本事業とSDGs (持続可能な開発目標) との関連性	<table border="0" style="width:100%;"> <tr> <td style="width:33%;"> <input type="checkbox"/> ゴール1 貧困をなくそう <input type="checkbox"/> ゴール2 飢餓をゼロに <input checked="" type="checkbox"/> ゴール3 すべての人に健康と福祉を <input type="checkbox"/> ゴール4 質の高い教育をみんなに <input type="checkbox"/> ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう <input type="checkbox"/> ゴール6 安全な水とトイレを世界中に </td> <td style="width:33%;"> <input type="checkbox"/> ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに <input type="checkbox"/> ゴール8 働きがいも経済成長も <input type="checkbox"/> ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう <input type="checkbox"/> ゴール10 人や国の不平等をなくそう <input checked="" type="checkbox"/> ゴール11 住み続けられるまちづくりを <input type="checkbox"/> ゴール12 つくる責任つかう責任 </td> <td style="width:33%;"> <input type="checkbox"/> ゴール13 気候変動に具体的な対策を <input type="checkbox"/> ゴール14 海の豊かさを守ろう <input type="checkbox"/> ゴール15 陸の豊かさを守ろう <input type="checkbox"/> ゴール16 平和と公正をすべての人に <input type="checkbox"/> ゴール17 パートナリーシップで目標を達成しよう </td> </tr> </table>											<input type="checkbox"/> ゴール1 貧困をなくそう <input type="checkbox"/> ゴール2 飢餓をゼロに <input checked="" type="checkbox"/> ゴール3 すべての人に健康と福祉を <input type="checkbox"/> ゴール4 質の高い教育をみんなに <input type="checkbox"/> ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう <input type="checkbox"/> ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	<input type="checkbox"/> ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに <input type="checkbox"/> ゴール8 働きがいも経済成長も <input type="checkbox"/> ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう <input type="checkbox"/> ゴール10 人や国の不平等をなくそう <input checked="" type="checkbox"/> ゴール11 住み続けられるまちづくりを <input type="checkbox"/> ゴール12 つくる責任つかう責任	<input type="checkbox"/> ゴール13 気候変動に具体的な対策を <input type="checkbox"/> ゴール14 海の豊かさを守ろう <input type="checkbox"/> ゴール15 陸の豊かさを守ろう <input type="checkbox"/> ゴール16 平和と公正をすべての人に <input type="checkbox"/> ゴール17 パートナリーシップで目標を達成しよう												
<input type="checkbox"/> ゴール1 貧困をなくそう <input type="checkbox"/> ゴール2 飢餓をゼロに <input checked="" type="checkbox"/> ゴール3 すべての人に健康と福祉を <input type="checkbox"/> ゴール4 質の高い教育をみんなに <input type="checkbox"/> ゴール5 ジェンダー平等を実現しよう <input type="checkbox"/> ゴール6 安全な水とトイレを世界中に	<input type="checkbox"/> ゴール7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに <input type="checkbox"/> ゴール8 働きがいも経済成長も <input type="checkbox"/> ゴール9 産業と技術革新の基盤をつくろう <input type="checkbox"/> ゴール10 人や国の不平等をなくそう <input checked="" type="checkbox"/> ゴール11 住み続けられるまちづくりを <input type="checkbox"/> ゴール12 つくる責任つかう責任	<input type="checkbox"/> ゴール13 気候変動に具体的な対策を <input type="checkbox"/> ゴール14 海の豊かさを守ろう <input type="checkbox"/> ゴール15 陸の豊かさを守ろう <input type="checkbox"/> ゴール16 平和と公正をすべての人に <input type="checkbox"/> ゴール17 パートナリーシップで目標を達成しよう																								

前回評価の振り返り



事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳 (千円)					事業費の内訳							
項目	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 要求	節	細節	事業費 (千円)				摘要 ※代表的なものを簡潔に	
	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 要求			R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 要求		
当初予算	3,399	3,336	3,336	3,329	例年支出のあるもの	報償費	報償費	137	137	137	137	
補正予算	0	0	0			需用費	消耗品費	7	8	20	21	
前年度から繰越						需用費	燃料費	7	4	8	21	
予備費等						役務費	通信運搬費	3	5	1	6	
計	3,399	3,336	3,336	3,329		委託料		2,967	2,985	2,981	3,144	
執行額	3,121	3,139	3,147									
翌年度へ繰越												
国庫支出金	1,202	1,208	1,212	1,282								
県支出金	601	604	606	641								
地方債												
その他	1,318	1,327	1,329	1,406								
一般財源												
執行率 (%)	91.8%	94.1%	94.3%									
正規職員の人工数	0.20	0.20	0.20									
1人当たりの人件費単価	7,765	7,895	7,973	※予算ベース								
※執行額+人件費	4,674	4,718	4,742									
予算執行状況の特記事項	執行率70%以下の場合には必須その理由等を簡潔に入力				事業費の総計		3,121	3,139	3,147	3,329		

事業活動の実績【アウトプット】

活動指標	活動実績の達成度を測る指標	単位	目指す方向性	R 5	目標実績	R 6	目標実績	R 7	目標実績	達成度	令和 5 年度の振り返り	令和 6 年度の振り返り	令和 7 年度の振り返り
				実績	実績	実績							
活動指標	指標① ランチ(2ヶ所)それぞれの相談件数の総数	件	→	1,000	1,000	1,000				かなり達成 (80%以上)	活動の評価・課題 地域住民への周知や関係機関連携、支援体制の構築により、相談支援の整備は着実に進展している。一方で相談内容の多様化が進む中で、課題解決に効果的な支援につなぐケースも増加している状況である。	地域住民への周知や関係機関連携、支援体制の構築により、相談支援の整備は着実に進展している。一方で相談内容の多様化が進む中で、課題解決に効果的な支援につなぐケースも増加している状況である。	地域住民への周知や関係機関連携、支援体制の構築により、相談支援の整備は着実に進展している。一方で相談内容の多様化が進む中で、課題解決に効果的な支援につなぐケースも増加している状況である。
				975	827	941							
	指標② ランチ(2ヶ所)のアセスメントシート作成数	件	→	50	50	50				かなり達成 (80%以上)			
				39	38	43							
指標③										課題への改善提案	関係機関との連携体制を一層強化し、複雑事例に対する効果的な支援の実施体制を整備する。	関係機関との連携体制を一層強化し、複雑事例に対する効果的な支援の実施体制を整備する。	関係機関との連携体制を一層強化し、複雑事例に対する効果的な支援の実施体制を整備する。
指標④													

※目標値：1年目の実績による変更【青字】入力、2年目の実績による変更【赤字】入力としています。

事業活動の成果【アウトカム】

成果指標	想定される事業活動の成果	中期成果	活動成果の達成度を測る指標	単位	目指す方向性	R 5		R 6		R 7		達成度	左記の指標が設定できない場合は、事業実施によって評価期間内に発現した定性的な成果を記入
						目標実績	実績	目標実績	実績	目標実績	実績		
成果指標	ブランチにおける相談件数の把握により、地域の支援ニーズの傾向や課題が明確化され、適切な支援につながっている。	中期成果	相談件数の推移、相談内容の分類	件	→	1,000	1,000	1,000	975	827	941	かなり達成 (80%以上)	
						50	50	50	39	38	43	かなり達成 (80%以上)	
	ブランチでのアセスメントシート作成を通じ、個別ケースの状況把握と支援方針の整理が進み、支援の質が向上している。	中期成果	アセスメントシートの作成件数、支援内容の把握	件	→								

※目標値：1年目の実績による変更【青字】入力、2年目の実績による変更【赤字】入力としています。

事務事業の評価

所管における事務事業の評価	自己判定	担当者	目的の妥当性	4 上位施策の達成に不可欠な事務事業であり、事業の目的を見直す必要はない 3 上位施策の達成に必要な事務事業であり、事業の目的を見直す余地が少ない 2 上位施策の達成に必要な事務事業であるが、事業の目的は検討の必要がある 1 上位施策の達成に向け、事業の目的は見直しが必要である	3	評価点ランク		A	事業遂行に係る工夫点・事業成果		
						S	11 ~ 12				
所管における事務事業の評価	自己判定	妥当性	市民・社会ニーズへの対応	4 市民ニーズ・社会ニーズの有無に関わらず、実施する必要がある 3 全体的な市民ニーズ・社会ニーズが増加傾向にある 2 全体的な市民ニーズ・社会ニーズが現状維持傾向にある。又は、市民ニーズ・社会ニーズが限定的である 1 市民ニーズ・社会ニーズが減少傾向にある。又は、市民ニーズ・社会ニーズが曖昧である	3	A	9 ~ 10	A	独居高齢者の増加や認知症の進行、物価上昇等の社会情勢の変化に伴い、相談内容は一層多様化している状況である。		
				4 本事業は市が直営で実施すべきものである 3 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきで、適切に導入している 2 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきで、導入の範囲に検討の余地がある 1 本事業の一部、又は、全部に民間活力を導入すべきだが、導入できていない	3	B	7 ~ 8				
				4 目標を上回って達成できた（100%以上の達成） 3 概ね達成できた（80%以上の達成） 2 やや達成できなかった（50%以上の達成） 1 達成できなかった（50%未満の達成）	3	C	5 ~ 6				
		4 既に相応の成果を得ているが、今後も成果向上の余地がある 3 成果向上が期待でき、事業継続の必要がある 2 成果は低調であるが、手法等の改善によって成果向上の余地がある 1 今後の成果向上は見込めない	3	D	3 ~ 4						
		4 本事業がなくなると、不特定多数の市民・団体等に重大な影響がある 3 本事業がなくなると、特定の市民・団体等に重大な影響がある 2 本事業をなくしても、市民・団体等への影響は少ない 1 本事業をなくしても、市民・団体等への影響はほとんどない	4	S	11 ~ 12						
		4 現状では最善の手段であり、他の手段を検討する必要はない 3 他の手段もあるが、現状の手段が望ましく、改善の必要性は低い 2 現状の手段が望ましいとは言えないため、他の手段も検討すべきである 1 現状の手段ではなく、他の手段に変更すべきである	3	A	9 ~ 10						
	効率性	コストの最適性	4 コストの削減・効率化の成果により、これ以上、改善の余地はない 3 コストの削減・効率化を適切に進めており、改善の必要性は低い 2 コストの削減・効率化に努めているが、成果が十分ではないため、積極的な改善が必要である 1 コストの削減・効率化の成果が全く得られておらず、抜本的な改善が必要である	3	B	7 ~ 8					
			4 事業の性質上、受益者負担を求めものではない 3 公平なサービスを提供し、適正な受益者負担を求めている 2 ある程度の公平なサービスを提供しているが、受益者負担には見直しの余地がある 1 対象者に偏りがあるなど公平なサービスとはいえない。又は、ある程度の公平なサービスを提供しているが受益者負担をしていない	4	C	5 ~ 6					
			4 現状では最善の手段であり、他の手段を検討する必要はない 3 他の手段もあるが、現状の手段が望ましく、改善の必要性は低い 2 現状の手段が望ましいとは言えないため、他の手段も検討すべきである 1 現状の手段ではなく、他の手段に変更すべきである	3	D	3 ~ 4					
	一次判定	自己判定結果の確定	☑ 上記のとおり自己判定を確定し、本結果を踏まえて以下のとおり貢献度・重要度を判定します				判定区分	S	非常に高い	A	複合的なニーズに対し、多職種連携等、包括的な支援体制を構築し、多岐に渡る相談に対応した。また、身近な関係者からの相談窓口としての認知度が向上しており、地域における相談が円滑に行われている。」
			A	高い							
			B	普通							
所属長	重要度	S 市政全体からみても、重要度が非常に高いと判断される事務事業 ※自然災害等の緊急事態に対応する事務事業も含む A 上位施策の視点からみても、重要度が高いと判断される事務事業 B 上位施策への貢献度も踏まえ、目標の達成に向けて現状の計画に沿って推進していく事務事業 C 上位施策への貢献度も踏まえ、統合・縮小を検討すべき事務事業 D 上位施策への貢献度も踏まえ、休止・廃止を検討すべき事務事業 ※既に休止・廃止が決定している事務事業も含む	4	C	低い						
		S 市政全体からみても、重要度が非常に高いと判断される事務事業 ※自然災害等の緊急事態に対応する事務事業も含む A 上位施策の視点からみても、重要度が高いと判断される事務事業 B 上位施策への貢献度も踏まえ、目標の達成に向けて現状の計画に沿って推進していく事務事業 C 上位施策への貢献度も踏まえ、統合・縮小を検討すべき事務事業 D 上位施策への貢献度も踏まえ、休止・廃止を検討すべき事務事業 ※既に休止・廃止が決定している事務事業も含む	4	D	非常に低い						
		所属長の所見									